

台風・集中豪雨 備えは大丈夫ですか？

夏から秋にかけては台風や集中豪雨が発生しやすく、毎年各地で土砂災害や暴風雨による被害が出ています。台風や集中豪雨の特徴を理解し、普段から気象情報に注意しておきましょう。また、家の周りや地域の危険箇所を確認し、家族や地域で安全対策を話し合っておきましょう。

【問い合わせ先】総務課危機管理室（☎ 82-1122）



⚠️ こんな台風に注意しましょう

台風の中心が西側を通過するときは雨・風ともに非常に強くなります。また、台風が接近し、気圧が低下することで海面が高くなるため、接近が満潮と重なったときは、海岸や河口付近では特に注意が必要です。

⚠️ 集中豪雨に備えましょう

集中豪雨は、日本付近で前線が停滞しているとき、台風が接近・上陸したときや大気不安定で次々と雷雲が発生するときに発生しやすいとされていますが、突発的に発生するため、長期予想は非常に困難です。急速に積乱雲が発生したときなどは、最新の気象情報に十分注意しましょう。

🍳 備える

☑️ 家の周りを点検する

- 雨戸や屋根を補強し、鉢植えや物干し竿等、飛ばされそうなものは屋内へ移動させるか固定しておきましょう。
- ブロック塀や外壁のひび割れ、亀裂は補修しておきましょう。また、水の流れをスムーズにするために、側溝や排水溝は清掃しておきましょう。

☑️ 非常時持出品を準備する

- 避難勧告や指示が発令されたとき、すぐに行動できるように、非常時持出品や貴重品を準備しておきましょう。

☑️ 停電に備える

- 懐中電灯や携帯ラジオ、予備の電池を用意しておきましょう。

☑️ 避難に備える

- 事前に避難場所への道順を確認しておきましょう。

▶️ 緊急時にも有効な防災メールの登録を！

気象情報をお知らせするメールを配信します。

「山陽小野田市防災メール」

e-sanyo-onoda@xpressmail.jp



🚫 避ける

☑️ 気象情報に注意する

- 気象庁から発表される警報や注意報などをテレビやラジオ、インターネットなどで確認しましょう。また、崖の亀裂や河川の水位の変化など周囲の環境の変化にも注意しましょう。

☑️ 早めの避難を心がける

- 被害が想定される場合には、早めに安全な場所へ避難しましょう。
- 夜間や豪雨で視界がはっきりしない場合や、膝上まで浸水している場合の避難場所への移動は危険です。建物の倒壊の危険がない場合は、自宅や近くの建物の2階以上へ緊急避難し、救助を待つことも検討してください。

▶️ 次の場合は情報提供を！

- 電線が切れたり、垂れ下がったりしている
- 電柱や電線から火花が散っていたり、異常な音がしたりしている

〈連絡先〉

中国電力(株)宇部営業所（☎ 0120-613-270）

